

裏面白紙

丙
九
二
五

立案	昭和	年	月	日
決裁	昭和	年	月	日

爵位課長

宗秩寮總裁

宮内事務官

勅授

海軍中將太田恭治外五名特旨叙位ノ件

昭和九年二月十三日裁可二月廿日達
臺帳記入三月十一日官報報告済



海軍中將太田泰治外五名
特旨叙位、件
右謹テ裁可ヲ仰ク

昭和十九年二月十二日

内閣總理大臣東條英機



内

閣

裏面白紙

人海位第七一號

案起

昭和十九年二月

日

裁可昭和十九年二月十一日施行
決定昭和十九年二月十一日施行

昭和十九年二月十一日

内閣總理大臣



内閣書記官長



内閣書記官



海軍中將太田泰治外五名
特旨叙位、件

辭令案

例文

内閣

大正十九年二月一日

七

敘從三位 昭和九年一月五日 任明海軍少尉以來 海軍中將 正四位 太田 泰治

敘正四位 同 任明海軍少尉以來 同 從四位 樋口 修一郎

同 同 任大正元年三月五日 任海軍軍醫中將 同 高城 喬

右文武官敘位進階内則第四條ニ依リ

謹テ奏ス

昭和十九年二月一日

海軍大臣 嶋田 繁太郎

海軍

内閣
司法省
三
五
號

敘正四位 昭和十九年二月七日 退職判事從四位近 松 万太郎

大正八年七月二十九日任判事以來在職十年以上

右文武官敘位進階内則第四條ニ依リ謹テ奏ス

昭和十九年二月八日

司法大臣 岩 村 通 世



司法省

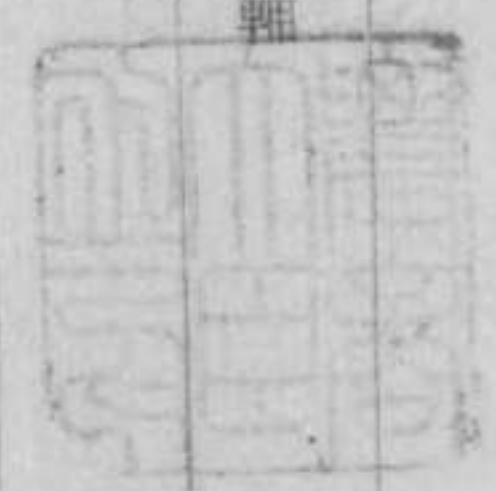
農林省
一九

叙從四位
依願免本官
昭和十九年一月至日
任官以來在職滿十年以上
元農商技師正五位
北川
魏

右文武官叙位進階内則第四條ニ依リ謹テ奏ス

昭和十九年二月二日

農商大臣 山崎 達之輔



農
商
省

一五六

大正十二年七月二十九日
任臺灣總督府專賣局技師
臺灣總督府專賣局技師從四位 小松 重一
敘正四位 依願免官以來在職十年以上

右文武官敘位進階内則第四條ニ依リ

謹テ奏ス

昭和十九年 二月 四 日

臺灣總督 長谷川



臺灣總督府

(日本標準規格 B 4)

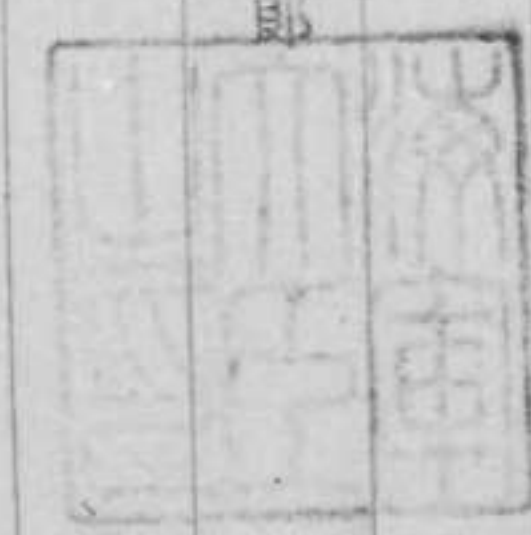
上奏書用紙

官
登
載
報

海軍人第一七〇號

昭和十九年二月一日

海軍大臣 嶋田 繁太郎



内閣總理大臣 東條 英機 殿

海軍中將太田 恭治 外二名ハ多年重職ニ在リテ克ク其ノ任務ヲ盡シ功績顯著ノ者ニ候處一月三十一日豫備役被仰付候ニ付テハ特ニ位一級被進度別紙上奏書進達ス

海 軍

(終)

19.2.1

裏面白紙

司法省人恩第一四四號上奏
右執奏有之度候也

壹件

昭和十九年二月八日

司法大臣

岩村通世



内閣總理大臣

東條英機 殿

退職判事從四位近松万太郎特旨救位之件

司法

239



(日本標準規格B5 縦)

秘山第一六四號

元農商技師正五位北川 魏特旨敘位ノ件別紙上奏書進達ス

昭和十九年二月二日

農商大臣 山崎 達之輔



内閣總理大臣 東 條 英 機 殿

農 商 省

特
二月二十六日 期限

内務大臣官房 甲第 四八三 號

別紙 小 松 重 一 特 旨 敍 位 ノ 件

上奏書進達ス

昭和十九年二月四日

内務大臣 安藤 紀三郎



内閣總理大臣 東條 英機 殿

内務省



裏面白紙

丙發第五三號

一海軍中將正四位太田泰治外二名

右二月二十五日附ヲ以テ敍位相成候ニ付位記及回送候
條傳達方御取計有之度候也

昭和十九年二月二十五日

宗秩寮總裁子爵武者小路公共

海軍大臣

榮令上奏番号
海軍人オ七〇号

宮内省

二號昇紙

242

裏面白紙

丙發第五五號

一退職判事從四位近松万太郎

右二月二十五日附ヲ以テ敍位相成候ニ付位記及回送候
條傳達方御取計有之度候也

昭和十九年二月二十五日

宗秩寮總裁子爵武者小路公共

司法大臣

啓令上奏番号

司法省人恩才一四号

宮内省

裏面白紙

丙發第五十六號

一元農商技師正五位北川 魏

右二月二十五日附ヲ以テ敍位相成候ニ付位記及回送候
條傳達方御取計有之度候也

昭和十九年二月二十五日

宗秩寮總裁子爵武者小路公共

農商大臣

發令上奏番号
秘山才一六四号

宮内省

二號昇紙

244

裏面白紙

丙發第五七號

元臺灣總督府專賣局技師從四位小松重一

右二月二十五日附ヲ以テ敍位相成候ニ付位記及回送候
條傳達方御取計有之度候也

昭和十九年二月二十五日

宗秩寮總裁子爵武者小路公共

内務大臣

聯合上奏番号
内務大臣
原官号
甲子四七三号

宮内省